

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会

開催日時:令和5年4月26日

参加者:7名

討議事項:以下を参照。

【学校評価を行う目的】

- 自己点検・自己評価を継続してきた中で、内部の自浄作用による改善を図ってきた経験から、外部識者による評価も加えて学校運営の更なる改善を継続的に実施していく。
- 外部識者による評価を実施し、その結果を公表することで学校の健全運営を広く知って頂く機会とする。

【学校評価を行う「学校関係者評価委員会」の構成】

任期は、今年度4/1より2年とする。

<外部委員>

- ・IMSグループ本部事務局 総看護部長 ・IMSグループ本部事務局 看護部 主任
- ・板橋中央看護専門学校 同窓会会長 ・板橋中央総合病院 実習担当責任者

<学校教職員>

- ・副学校長・教務主任・事務長

【会議議題】

1、「学校評価の目的」に基づき、学校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。

2、令和4年度自己点検・自己評価結果についての総論は...

○少子化の影響による学生確保が困難になってきている。学校運営の観点から学生確保を重点的に行って頂きたい。

○新カリキュラムとなり、学習するデバイスが、「紙」から「デジタル」に変わったが、学生の学習環境に影響は見られなかった。タブレットを開けば容易にテキストが参照できるので、環境はむしろ改善したのではと見受けられる。

○外部委員の助言、経験などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組をホームページ等に掲載し広く社会へ公表する。

3、次回、「令和4年度自己点検・自己評価」について細部を審議し、今年度の評価方法について検討する。